

市政を問う！

一般質問

一般質問とは、議員が市政全般にわたり、市の考えを問うものです。今回の議会では、14人の議員が一般質問を行いました。掲載した内容は各議員本人が要約したものです。なお、全ての質問と回答は市議会ホームページの会議録で閲覧できます。（5月下旬掲載予定）

いじめ、虐待、パワハラ、セクハラ等ハラスメントのないふじみ野市へ

渡辺 大議員

問 子どもがいじめや虐待を受けて亡くなるケースや職場でのパワハラ等のニュースが後を絶たない。苦しみ、命まで奪われてしまうようなことのない社会にしたい。これは市民、国民の共通の切実な思いである。

答 本市における取り組み状況は。

学校では、いじめや虐待に対し家庭等と情報共有を図り、早期発見・



早期対応できる体制の充実に引き続き取り組む。子育て支援の現場でも関係機関による連絡体制を強化し、虐待リスクの早期発見・早期対応に繋げており、今後子ども家庭総合支援拠点を設置し体制強化を図る。

また市役所の職場では、いかなるハラスメントも許さないという方針を明確化し研修の充実や制度の周知・啓発を図っている。

空き家問題

問 市内の空き家の現状は。

答 調査により約1000件の空き家を把握している。

市の対応状況は。埼玉県建築協会の埼玉西部支部と協定を締結し、ワンストップの相談体制を整備した。

思い出に残る成人式

加藤 恵一議員

問 成人式に撮影スポットを設けてみては。

答 撮影スポットの設置場所や方法について調整を図りながら、実際のニーズも検証するため試行的に行うことを含め検討する。

賑わいのある商店街再生に向けて

問 NEXT商店街プロジェクトの今後の取り組みは。

答 平成31年4月より文



京学院大学においてまちづくり研究センターまちラボが開設される。教員、大学生、高校生、地域住民、商店主が研究員となり、地域活性化に向けて取り組んでいく。

安全に通行しやすいまちづくりに向けて

問 交通の危険箇所マップを作成してみては。

答 交通の危険箇所を周知することは有効な手段の一つであると考える。

他自治体の事例を参考に研究していく。また、これに代わる対応として県警が公開している過去数年分の交通事故発生状況を閲覧できる事件事故発生マップを、市のホームページから開く事ができるようにすることを検討している。